

今回は市政執行方針の重点に掲げている留萌市立総合病院の移転改築の推進に伴い、実施設計ができましたので、その内容についてお知らせします。

新市立病院は患者・来院者に優しい、地域に根ざした病院として病棟は快適な療養環境で、患者に「やすらぎ」を与えます。

外来は患者の痛みや不安・緊張を少しでも緩和できるような「くつろぎ」を与えます。

災害時に病院の機能を損なうことのないよう災害拠点病院としての「安心感」を提供できるように、更に、医療スタッフの機能性に配慮します。

平成十三年の三月完成、同年八月オープンを目指して、十一月初旬着工予定です。

ひとまち、ゆめ、みなど

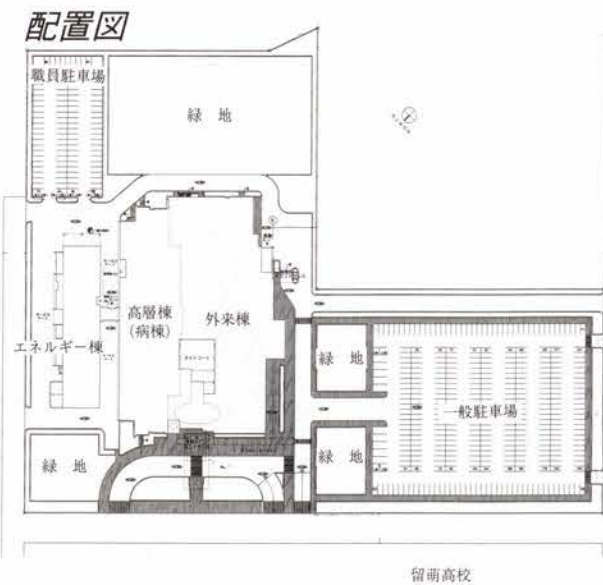
翔く留萌 21

平成10年度
市政執行方針

6

「創造都市」を
つくるために

やさしく 安心感ある病院



概要
 構造：病院本館 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階
 別棟エネルギー棟 鉄筋コンクリート造 地上2階
 面積：21,337㎡+隔離237㎡
 駐車収容台数：355台
 病床数：350床+隔離11床
 診療科：16科
 想定外来患者数：1,000人/日(平均)

完成予想図

1階

2~5階

最上階

各科(内科・外科・小児科・眼科・消化器科・整形外科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・循環器科・脳神経外科・麻酔科・形成外科・呼吸器科・皮膚科・産婦人科・神経科)の外来患者の診察室を配置します。その他、放射線室、臨床検査室、リハビリテーション科、救急外来、薬局、会計、事務室などを配置します。

■特徴

受付から診察、検査、投薬、会計までのすべての手続きが1階でできます。

オーダリングシステム(医師が診療しながら直接処置や投薬を機械に打ち込み、会計や投薬の待ち時間を短縮するシステム)を導入し、患者サービスの向上を図ります。

正面玄関の冬期間の風対策を考慮した構造とします。
 ・エントランスホール、外来待合は中央のライトコートに面し、明るく開放的な空間としています。

2階から5階までは一般病棟と詰め所を配置します。

2階 産婦人科(19床)
 小児科(22床)
 内科ドッグ(3床)
 人工透析、医局、講堂、備蓄倉庫など

3階 整形外科(52床)
 脳神経外科
 麻酔科
 耳鼻咽喉科
 循環器科(51床)

4階 外科
 泌尿器科
 皮膚科
 内科
 呼吸器科
 眼科
 消化器科(50床)

5階

■特徴

4床室を主体とし、各室にトイレ、洗面台を配置します。

各階に患者用の食堂、デイルーム(談話室)を配置します。
 ・ナースステーション(詰め所)はオープンカウンターとし、気軽に対応できるよう配慮します。

外来食堂、職員食堂、売店、容室、理容室などを配置します。

■特徴

市街地や留萌のシンボル「海」を展望できるラウンジを設けます。

1階は電気室、冷暖房・空調機械室、中央倉庫、中央材料室、滅菌洗浄室などで、2階は手術室(5カ所)などを配置し、本館と渡り廊下で結びます。

別棟エネルギー棟

その他

自家発電装置を有効利用するシステムを採用し、経済性に配慮します。

空調・冷暖房設備により、各室の特殊性にあわせた対応、更に、適当な湿度と清浄な空気による換気により、快適・衛生環境に配慮します。

